

高等教育活性化シリーズ 151 (通算 437 回)

2009 年 9 月 9 日(水)

淘汰期の教学・経営責任

大学・短大の合併・廃止・再生の実際

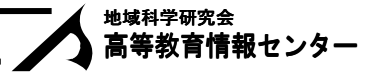
～ 再生と破綻のハザマ／統合合併／募集停止から廃止／実務と留意点 ～

- ※ 再建・清算法制と再建の原理／経営破綻状況の分析／大学再生方策・プロセスと留意点
- ※ [統合合併] 聖和大学の法人及び大学・短大の関西学院への統合／作業・実務の実際／綜括
- ※ [募集停止～廃止] 桜美林大短大部廃止と大学全学改組再編／教学対応と実務の留意点
- ※ [懇談交流パーティ] 3 講師陣を囲んでの情報交換で、明日の教学・経営を拓く

● 講師陣 ●

須澤 晃 氏 / (学) 帝塚山学園内部監査室長、元・(学) 聖和大学総務部長・評議員
 尾上 聡 氏 / (学) 桜美林学園総務部人事課副参事
 影山光太郎 氏 / 影山法律特許事務所長・弁護士、弁理士、
 元・(学) 東北文化学園大学理事長

2009 年 9 月 9 日(水) 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)



日 時：2009 年 9 月 9 日(水) 10:00～16:50
 会 場：中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)
 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
 03(3292)3111
 アクセス：JR「お茶の水」駅徒歩 3 分／東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B1 出口 徒歩 3 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。
 参加費：ご一名(資料・懇談会代込)
 50,000 円(消費税込)
 ※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。
 申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 151
大学・短大の合併・廃止・再生の実際

2009 年 月 日

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名

所属部課役職名

メールアドレス

〈通信欄〉支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:40	<p>□ [統合合併] 聖和大学の法人及び大学の統合合併（平成21年度）への3年間 ～関西学院との合併の背景と経緯～ (学) 帝塚山学園 須澤 晃</p> <p>1. 聖和大学と関西学院大学の生い立ちと今日 ① 創設者は〈母と息子〉、聖和の歴史は、統合合併の歴史〈聖なる和合→聖和〉 ② 専門性の高い単科大学と、充実し拡大化する総合大学 ③ 地理的に約600m徒歩5分で、相互の交流〈理事、教員等〉</p> <p>2. なぜ合併を考えたのか？ ① 聖和大学の募集活動は約2～3倍応募と順調で、合併時には赤字から脱し黒字に転換できた ② 単科大学の10年先、短期大学の10年先を考えた場合、きっと逆境であろう ③ 対等合併を目指し、総合化へ向けて統合化されることで、相乗効果を期待した</p> <p>3. 合併への準備期 ① 「読売新聞」夕刊にスクープ！ ② 合併協議会を設置し、“合併を視野に協議を開始” ③ 学内、卒業生、学外からの意見聴取と協議</p> <p>4. 合併作業の本格期 ① “建学の精神”についての協議 ② キャンパス準備委員会 ③ 作業のポイントは、財務（経営状況の見直し）、教学（カリキュラム再検討）、 教員（審査、配置転換の検討）、職員（人事考課、業務改善）、 施設（環境整備、不良債権処理）等々</p> <p>5. 法人合併と同時に大学・短大の統合の綜括 ① “建学の精神”の具現化 ② 中長期計画の立案と見直し ③ 募集活動（アドミッションポリシー）の抜本的な見直し ④ フレキシブルな学生主体のカリキュラムを実践 ⑤ 実社会との接点をもったキャリア教育の構築 ⑥ 収益事業への積極的な参画 ⑦ 地域社会への協調と貢献 ⑧ 「設置基準／認証評価／質保証」のシナリオ構築 ⑨ 総合的大学の改革の推進 ⑩ 経営と運営の強調 (質疑応答)</p>
11:50) 13:00	<p>□ 桜美林大学短期大学の廃止（平成12年度～平成19年度） ～併行して進めた大学全学改組／教学対応と実務の留意点～ (学) 桜美林学園 尾上 聡</p> <p>1. 短期大学生活文化学科の募集停止と大学の学科増 (1) 募集停止を選択するに至った背景 (2) 教員の移行計画と大学学科増計画</p> <p>2. 短期大学部英語英文科の募集停止と大学の全学改組 (1) 英語英文科の募集停止は短期大学部の募集停止、そして廃止 (2) 大学基本組織の機能別再編の着手</p> <p>3. 改組再編等は、水準確認の契機 (1) 過去の諸活動に対する点検評価から質の維持向上計画へ (2) 経常的な情報収集と分析からサクセスストーリーは生まれる (質疑応答)</p>
14:00) 15:40	<p>□ 学校法人の経営破綻の特質と事業再生方策 ～民事再生大学法人の理事長体験を踏まえて～ 影山法律特許事務所 影山光太郎</p> <p>1. 我が国の再建・清算法制と再建の原理 (1) 再建・清算法制の概要と学校法人への適用 (2) 再建の原理</p> <p>2. 大学の運営組織の特質とリスク管理 (1) 組織・運営上の問題点と検討 (2) 大学におけるリスクと対応</p> <p>3. 私立大学法人の経営破綻状況の分析と再生方策 ～ある大学法人のケースにみる再建計画づくり～ (1) 債権者の状況（企業・金融機関、行政等その他） (2) 文科省等への行政対応 (3) スポンサーの選定</p> <p>4. 私立大学・学校法人の再建へのプロセスと留意点 (1) 民事再生法による法的手続と事業活動 (2) 対外面：学生の募集・就職、各界への協力要請、マスコミ対応 (3) 対内面：組織内の意思疎通、規則整備、魅力ある講義、学生の活動支援</p> <p>5. 学校法人（大学・短期大学）への若干の提言 (質疑応答)</p>
15:50) 16:50	<p>[懇談交流パーティ] 須澤・尾上・影山の講師陣を囲んで</p>